

事例紹介

緊急雇用創出事業 【環境分野】

(クロス)
NPO法人CROSSではこれまで、主に親子向けとして、自然エネルギーやリサイクル施設の見学や自然体験など、屋外での環境教育に取り組んできました。

今回は環境出前講座として、子どもを始めとした県民への環境教育を行う機会を得ました。県民の皆様笑顔に会えることを楽しみにしています！



特定非営利活動法人
循環型社会創造ネットワークCROSS
理事長 類家伸一さん

事業概要

「省エネルギー型社会」(低炭素・循環型社会)の実現に向け、地域の人材によって、子どもを中心とした県民に対する継続的な環境教育の実施が可能になるシステムの構築を目指す

委託先

特定非営利活動法人循環型
社会創造ネットワーク
クロス
(CROSS)

新たな 雇用創出数

5人

事業費

約706万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年
4月～

青森県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

青森県 0.27倍(季節調整値)

業務内容

- ① 環境出前講座等の実施【120日(150回)】
- ② 環境教育ボランティアの人材発掘
- ③ 環境教育サポーターの育成
【ボランティアへの体系的・実践的なノウハウの伝授】



楽しくラッピングした環境教育専用車

環境教育専門員 の皆さん

左から



「今日とはどんな出会いがあるかな、と毎日楽しみです。私の娘も児童と同じ年代。母親世代として、未来の青森県を担う子供たちにはエコについてもっと知ってもらいたいので、授業には熱が入ります。」——小笠原 奈美

「教壇に立つのは初めてですが、子供たちの素直な反応や鋭い指摘からは新たな発見があったり、元気をもらったり。エコの輪を繋げる一助としてこれからも頑張っていきますので、よろしくお願いします。」——大久保 美穂子

「以前は小学校講師をしていたので、久しぶりに教壇に立つとテンションが上がります。プログラムを自分のものにするために悪戦苦闘の毎日ですが、それぞれの学年に合わせて、分かりやすい言葉で語りかけるよう心がけています。」——三浦 賀子

「県内のさまざまな地域の小学校を回っていますが、児童の反応がとてよく、嬉しく思っています。子供たちがエコに関してよく知っているのも驚き。大人も負けていられません。自分から積極的に情報収集をして、地球環境の大切さをしっかりと伝えたいですね。」——横川 照子

出前講座の実施状況

実施予定回数150回を上回る
申込があり、好評を得ています。



小学校低学年向けプログラム
(どっちなかなゲーム)

今後の姿と課題

●この事業では、地域での環境教育の担い手となっていたただけボランティア(環境教育サポーター)も養成し、事業終了後は環境教育サポーターによる持続可能な環境教育の実施を目指しています。

●県でも各地域のサポーターの活動を側面から支援(環境教育の情報やツール提供、スキルアップ講座の開催等)するとともに引き続き新たなサポーターの育成を進めていくこととしています。

●この環境出前講座をきっかけに、一人ひとりができるエコなこと・行動が大きな環となり、青森県全体で環境を守る機運を高めたいと考えています。

外来生物等調査駆除事業

事例紹介

緊急雇用創出事業

【環境分野】

この事業で雇用の創出が図られ、社会貢献できたことをうれしく思います。受託者側としては、社会貢献により、イメージアップに繋がるメリットのある事業と考えています。今後も同事業が継続的に実施され、さらなる雇用の創出が図られることを期待しています。

事業概要

ラムサール条約登録湿地でもある日光国立公園戦場ヶ原周辺等において、在来の生態系や生物を守るため、オオハンゴンソウ等の外来植物の調査及び駆除を行う。

委託先

東亜サーベイ株式会社
(本社: 栃木県宇都宮市)

新たな
雇用創出数

10人

事業費

4,095千円(平成21年度)

事業の開始

平成21年8月～11月

業務内容

外来植物の分布状況調査及び分布マップの作成

外来植物の駆除作業(人力による抜き取り)



東亜サーベイ株式会社
調査事業部 部長代理
張替 勝さん

駆除した
主な外来植物

オオハンゴンソウ



メマツヨイグサ



《傾斜のある場所は、キツイけど頑張ろう!!》

作業をした
皆さんの声



高瀬 晋一さん

外来植物について勉強できて良かったです。
日光付近には何度も来ていますが、外来植物
がこんなに多いとは思いませんでした。
雇用が少ない時に就労できて良かったです。



菅又 和洋さん

作業前

オオハンゴンソウ繁茂地区



作業後



業務は楽しくできました。めったに関わ
ることのできない仕事(植物)に接するこ
とができ、勉強になりました。
外来植物は繁殖力が強いので、除去方
法を工夫する必要があると思いました。

工場などの業務と比較して自然の中で
働くことは、緊張せずリラックスして働くこ
とができ、健康面においても良いと思いま
した。自分で考えて仕事が進められたの
で、完璧にはできないまでも達成感があ
りました。今後もこのような仕事をやりた
いです。



迫田 カドオカ
フランシスコさん

こんなにきれいになりました。

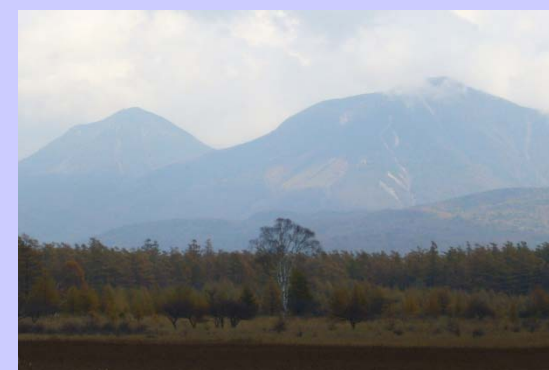
小田代原

外来植物対策のポイント

国、県、市、地元住民、関係機関等が**連携・協力**して
取り組むことが大切です。



戦場ヶ原周辺では、人為的に持ち込まれた植物が
在来植物の生育を脅かしています。このため、1970
年代から地元の方々やボランティアが中心となって外
来植物駆除作戦が展開されてきました。
今後も駆除活動を行うことにより、日光の豊かな自
然が将来まで守られていくことを願っています。



《この美しい景色をみんなの手で、いつまでも・・・》

不法投棄監視パトロール事業 【石川県金沢市】

事例紹介

緊急雇用創出事業

【環境分野】



パトロール員的一天



さあ出動！



谷はゴミ捨て場
じゃないよ～

事業概要

不法投棄の未然防止のため、山間部や海岸部などの不法投棄多発地域を巡回パトロールし、軽易な投棄物は回収する。

事業費

約1,550万円(平成21年度)

新たな 雇用創出数

11人

事業の開始

平成21年5月～

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の
有効求人倍率)

石川県 0.50倍(季節調整値)
金沢管内 0.55倍(原数値)



投棄者の
手がかりは？

タイヤ発見！



集積場所へ
よいしょ！

家電の投棄もいっぱい！



お疲れ様



1日の終わりは
報告書づくり



金沢市環境局環境指導課
監視パトロール担当
主査 林 登志勝さん

ゴミがゴミを産まないよう、
少量のうちに投棄物を回収しています。
緊急雇用期間中、監視パトロールをとおして、
不法投棄が悪質な犯罪であることや、
廃棄物の正しい処分を呼びかけます。

事例紹介

緊急雇用創出事業

【環境分野】

緊急雇用創出事業は今回で2回目です。
 数年前、当組合の従業員が高齢化し新規従業員の確保に苦慮しているとき、1回目の当該事業で雇用した若者数人を正式雇用した経緯があり、現在も山仕事にがんばっています。
 今回は世界遺産登録になったことで緊急雇用者の方も、環境整備を通じて地域の遺産に思いを馳せ、地元に着定していただければと期待しています。



大田市森林組合
 神谷光夫 代表理事組合長

事業概要

世界遺産である石見銀山において、世界遺産の範囲内の史跡等にある森林や竹林の整備を行うことにより、世界遺産の景観・環境を保全し、良好な景観を形成する。

委託先

大田市森林組合

新たな雇用創出数

10人

事業費

1,338万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年8月～

業務内容

世界遺産の範囲内の史跡等にある森林や竹林の整備(枯木等伐採・除去、枝打ち、除草・清掃等)

伐採した竹のチップ化

～世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」の保全～

2007年世界遺産に登録された石見銀山遺跡では、自然の中に遺跡や町並みが残っていることから、民間と行政が協働しながら景観や環境の保全に取り組んでいます。民間団体や企業の清掃や草刈などの活動や、官民で「クリーン銀山」というボランティア参加によるクリーン活動などが行われています。

島根県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

島根県 0.59倍(季節調整値)
 石見大田管内 0.50倍(原数値)



石見銀山(遠景)

作業員のみなさん

世界遺産である石見銀山において、世界遺産の範囲内の史跡等にある森林や竹林において、枯木等伐採・除去、枝打ち、除草・清掃等を行うことにより、世界遺産の景観保全等に取り組んでいきます。



石見銀山街道の草刈作業

事業の位置づけ

石見銀山遺跡の範囲は史跡・町並み保存地区(コアゾーン)が約575ヘクタール、景観保全地域(バッファゾーン)が約3,663ヘクタールにも及ぶ広大な範囲です。また自然と共生した鉱山遺跡といわれるように、自然景観と一体となって遺跡や町並みがあることが、世界遺産としての価値のひとつといわれます。

大田市では島根県と共同しながら、遺産の保全活用事業に取り組んでいますが、登録後は特に来訪者の受入態勢の整備を重点施策のひとつとしています。具体的には来訪者が遺跡の全体像がわかり、安全に見学できるように遊歩道を整備したり、遺跡が視認できるように竹木の伐採などにより、森林や竹林の整備を行っています。

今回の事業は、日常的なパトロールとともに、景観・環境の保全と良好な景観を形成することを目的とした基本的な事業として位置づけています。また多くの来訪者が利用・見学する、銀山川遊歩道、銀山を守った山吹城跡、銀山と港を結ぶ石見銀山街道などを対象にしています。

(大田市石見銀山課)



安全衛生特別教室(草刈機の講習)



山吹城跡の草刈作業



伐採した竹のチップ化も行っています

野生鳥獣被害対策事業(ヌートリア集中捕獲事業等) 【岡山県】

事例紹介

緊急雇用創出事業

【環境分野】

岡山県は、温暖な気候に恵まれた、農業生産が盛んな地域です。しかし、田畑で作物に被害を及ぼすヌートリアの増加が、農家の悩みの種です。これまで、地元猟友会等の協力により、毎年約2,000頭のヌートリアが駆除されていますが、まさにネズミ算式に増えるヌートリアの生息数は全国一といわれており、農業被害は簡単にはおさまりそうにありません。そこで、緊急雇用創出事業を活用し、深刻な農業被害を軽減するため、全国初となる全県を対象としたヌートリアの調査・駆除を行っています。



ヌートリア(特定外来生物; 南米産)

事業概要

岡山県にはヌートリア(有害獣)が多く生息しており、地域の環境悪化、農作物への被害が深刻になっているため、要望のある全市町村を対象に生息実態を調査し、その結果に基づいた捕獲を集中的に行う。

委託先

株式会社ウエスコ
(本社:岡山県岡山市)
従業員数519人

新たな雇用創出数

52人

事業費

約12,486万円(平成21年度)

事業の開始

平成21年6月～

岡山県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

岡山県 0.56倍(季節調整値)

業務内容

■ヌートリアの生息実態調査

県全体の約8割の市町から要望があり、地域の住民等の協力(立会、情報提供)を得ながら、県内の分布状況、農業被害の実態、それらを踏まえた集中捕獲時の罠の設置場所を調査します。

■ヌートリアの集中捕獲

生息実態調査の結果を基に、広域で効率的な捕獲を行います。捕獲は、外来生物法に則って行います。

■捕獲効果の検証

捕獲後の被害の実態を聞き取り調査等で把握し、事業の効果を検証します。



水辺に箱わなを設置して捕獲します

事業を進める上で...

関係者会議を開催し、事業内容を調整(大学、市町村、猟友会)
地域の住民や猟友会に協力を得る

がんばってヌートリア
を減らしてよ



田んぼを歩くので
ご協力願います

こうやって箱わなをしか
けるんじゃ(地元猟友会)



事業の効果は...

本年度末までの捕獲見込(約1,000匹)
今後、被害の抑制と地域住民の対策強化に期待

調査員の声

ヌートリアの被害を受けている住民には、快く協力してもらっており、この事業に対する大きな期待を感じます。

慣れない作業で最初はとまどいもありましたが、地域の皆さんが喜んで下さるのでやりがいのある仕事です!



今後の姿と課題

詳細な生態や被害の実態を把握できるので、今後の対策の参考にできると考えられます。

とくに、侵入防止柵などの簡易な被害対策や、外来生物法の活用などは、県民にとって役立つ情報と考えられます。この事業による被害抑制効果がどの程度なのかを把握することが今後の課題となるでしょう。

(岡山理科大学 小林 准教授)

ヌートリア生息実態調査・集中捕獲の流れ

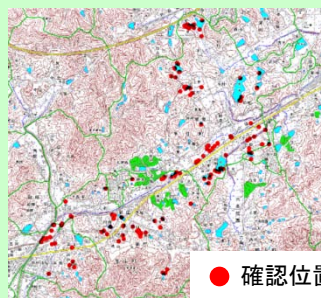


農業被害の状況

- ・イネの食害(左写真)
- ・野菜類の食害
- ・堤防の穿孔(巣穴)

ヌートリアの生息実態調査

左: 巣穴
右上: 足跡
右下: フン



生息実態調査の結果

- ・GPSを利用した分布情報の整理
- ・捕獲場所の選定

● 確認位置

ヌートリアの集中捕獲

- ・箱わなで捕獲
- ・ヌートリアの一部は学術研究に活用

